

# 区政をきく

## (一般質問)

平成21年第4回定例会では、各会派から10名の議員が、区政全般にわたり一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。



林 宏 議員 (自民)

### 品川区の組織変更後の対応策について

①平成21年4月に大幅な組織改正を行ったが、行政活動を実施する上で成果が出るように機能しているのか。組織内でどのように情報伝達がされているのか。②区の基本的な理念を、若い層の職員にどのように伝達しているのか。③事故等の専決処分報告が多くなっていると感じるが、責任者からの注意事項の伝達等はされているのか。④政府組織が変わったことにより、国や都との関係に変化はあるのか。区長会がまとまって対応するようにしているのか。⑤区民との連携・協働について、新しい構想や計画等を現場の職員は説明をして考えを明確に伝えるなどの活動は行っているのか。区民の意見を、組織で情報交換しているのか。

区長 ①事業部経営会議に向けた各事業部および事業部間における意見の調整と集約

### 品川区の防災まちづくりについて

①二葉四丁目の東急バスの車庫を兼ねた事務所が改築されると聞いたが、情報はもたらされているか。②西大井六丁目の都営第2大井伊藤町アパート跡地への考えは。③都道補助26号線の完成時期は。④武蔵小山駅前バスが乗り入れられるようになった。武蔵小山駅、平塚橋、第二京浜国道、三間道路から区役所として大井町のルートで巡回バス運行の要請を行っている。防災まちづくり事業部長

①東急バスによると、現在建てかえなどの具体的な計画はないとのことだ。②防災広場用地として取得に向けて都と調整をしている。③施工方法などの内容が固まり次第、都より完成時期が示される。④検討中の補助26号線を通る新設ルートと区間が重複するなどの課題があり、東急バスと調整を行う。

### 品川区の教育について

①政権が変わり、区の教育改革について日本の教員組合から変化を求められていないか。改革を断固とした態度で進めるべきでは。②荏原東地区小中一貫校について、設計会社は区の理念に理解を持って、仕事に取り組んでいるのか。③隣接の都道補助26号線の工事進展状況を、設計会社は把握しているのか。④4つの小中学校が一体となるが、各校に思いがあることに關心はないのか。⑤4校が一つ

なり大きな学校をつくるという考えはいかがか。中学校を5クラスと設置するのは教育委員会なのか、設計者なのか。

### 教育長

①品川区の地方主導の教育改革の流れは、現政権の方針に影響を受けるものではない。全教職員の力を結集して学校教育の充実に向けた取り組みを推進する。②これまでの中一貫校建設で蓄積したノウハウに基づき、区が提示した荏原東地区ならではの特徴を生かす設計条件を把握し、設計作業に反映させていると考える。③現況を把握し、極力影響の出ないような設計に当たっている。④それぞれの学校が有する歴史、伝統や関係者の思いなど有形・無形の財産を継承または融合させる協議が不可欠と考える。⑤教育委員会が判断をし、計画を進めている。



若林 広毅 議員 (公明)

### ムダのない税金の使い方や、行政改革について

①新長期基本計画がスタートし総合実施計画が回り始めている。事務事業評価の見直しについては将来的な課題としてきたが、見解を。②今後の改革では外部の目を入れたり、評価や指摘についてプロセスや結果をもっと区民の目に触れるようにすること、また説明を果たす姿勢と努力を知っていただくことなど大胆に改革する必要性を感じる。③行政委員会の委員の報酬は、例えば月の途中の離職者にもまたその後任者へもそれぞれ丸々1か月分が支給される。人事交代があった直近の年度における実態、見解と対応は。④区職員労働組合との組合費天引き徴収システムおよび確認書について改善等への状況は。⑤労使関係のありさまへの認識等は。

区長 ①より簡便で実効性の高い評価の仕組みを再構築して、来年度以降の予算編成などに活用する。②議会での審議などをもとに行財政改革を着実に推進してきた。さらに継承発展させることが重要であり、よりわかりやすい方法など工夫する。③教育委員は今年度1例、選挙管理委員は平成18年度1例、非常勤の監査委員は今年度2例だ。区議会でのような場合の議員に関する報酬の見直しを準備している。議会と軌を一にして、執行機関においても月の途中で異動があった場合の行政委員会委員等の報酬を月額から日割りとする改正条例を今定例会で提案予定だ。

総務部長 ④組合費の徴収については区では行っていない。過去の確認書はすべて廃止し、現在では職員団体等と計4本のみ締結している。⑤区民の理解と信頼を得ることが区政

運営の基本であることについて、職員団体等に理解と協力を求めることが最も重要だ。

### 自転車利用促進のための環境整備について

①環境や健康の視点から、自転車利用の効果は。②走行中の携帯電話使用など、交通規則に反する行為に対して毅然と対処しては。③安全教育に一層の努力を。④立会道路で自転車レーンの整備が計画されているが、現状などは。⑤専用のカーブミラーを開発し設置するなど、交通安全に万全を期すことへの所見は。

### 都市環境事業部長

①現時点では歩行者や自転車利用者の安全を第一に施策を考える。警察も指導等を強化すると聞いている。③ホームページ等で交通ルールのわかりやすい解説などを紹介しており、充実に努める。④平成22年2月末の完成予定だ。今回の成果等を検証しながら、設置の可能性について検討する。⑤自転車利用者にも有効な角型のカーブミラーを採用しているなどだ。

### 地域福祉について

①赤ちゃんからお年寄りまで、障がいの有無にかかわらず誰もが一緒に、身近な地域で受けられる「富山型デイサービス」を、新たな地域福祉の核としては。②青年層や企業などの地域福祉ボランティアへの参加を、もうひとつの新たな核としては。③地域福祉計画の基本目標への達成度について評価は。④ふれあいサポート活動推進委員会について活動の状況は。⑤担い手への支援等の現状は。⑥地域福祉を抜本的に見直すことが必要だと思ふ。新地域福祉計画の策定に見解は。

### 健康福祉事業部長

①利用者が多様になり、求めるニーズにこたえ切れるかの検証などが必要であり今後の課題だ。②さらにボランティアセンターと連携する。③各事業を通じて、多様な支え合い活動が広がりとつとめと評価する。④地域センターごとの活動達成状況に対する評価などだ。⑤夕食の配食サービスを担っていた方々に訪問ボランティア事業に取り組んでいただくため、地域センターが担い手の支援をした。⑤地域福祉の担い手や地域での機運の醸成が重要だ。計画策定が有効な手法を含め検討する。



本会議傍聴 山中小学校